

個別化医療の新たな治療法開発および免疫療法 を担う腫瘍内科医養成コース

養成目標

がんゲノム情報に基づいた個別化治療の実践と新たな治療開発を担う人材を育成する。また固形がんにおいてますます重要になっている免疫療法を適正に管理できる医療人を育成する。

コースの特徴

- エキスパートパネルに参加し、がんゲノム医療の実践的な知識の修得を目指す。基本的ながん医療については、がんプロ連携大学講師のE-learningの講義の活用、多職種が集まり症例検討を行うTumor board、骨軟部腫瘍カンファランス等へ参加し、技術の修得を目指す。
- 高い専門性を持つ腫瘍内科医を育成できる専門教員を有しており、特にがんゲノム医療、免疫療法の領域においては、研究指導が可能な環境が整備されている。免疫関連有害事象（irAE）の管理については、対策チームについて実地臨床で学ぶ機会・体制が準備されている。